

研究実施に関する情報公開

琉球大学医学部附属病院産婦人科では、臨床研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。この研究では、患者様のカルテに記載された臨床データを研究資料として使用させていただきます。患者様には臨床データ利用の目的と趣旨をご理解いただきますよう宜しくお願い申し上げます。また、研究対象者となる患者様は研究実施されることに拒否することができます。その場合は産婦人科スタッフ又は、下記問い合わせまでご連絡下さい。

研究課題名： 婦人科がん死亡症例における詳細調査研究についてのお知らせ —終末期における化学療法継続性の可否を判断する根拠の確立を目指して—
研究期間： 臨床研究倫理審査委員会承認後～平成 29 年 3 月 31 日
対象材料： 診療記録情報（カルテ）
目的： 婦人科がんのみならず全てのがん腫において、治癒不可能な進行、再発、再燃する症例が存在します。それらの症例は、がんによる症状を緩和する、あるいは延命目的に抗がん剤や放射線治療、外科手術などが行われることもあります。しかしこのような症例に、いつまで抗がん剤をはじめとする積極的な介入を行うのかについては不明であるため、検討が必要と思われる本臨床研究を計画しました。
研究対象： 対象となる患者さんは、琉球大学医学部附属病院 産婦人科で 2012 年 1 月から 2014 年 12 月までに死亡された婦人科がん患者さんです。
方法： 対象となる患者さんの診療情報から、年齢、疾患名、初回治療情報、初回再発時の情報、再発時の治療内容、特に緩和ケアの介入、生存期間、などを調べて、どういった要因が患者さんにとり利益となりまた不利益となっているか分析します。収集した情報は匿名化して、個人を特定できるような情報が外部に漏れることはありません。研究結果は後日学会発表や学術誌などで公表する場合がありますが、個人のプライバシーを厳重に保護します。研究に関するデータは、研究期間終了後速やかに破棄させていただきます。
問い合わせ： 琉球大学医学部附属病院 産科婦人科医局 〒903-0215 沖縄県中頭郡西原町字上原 207 Tel:098-895-1177 Fax:098-895-1426 【研究責任者・担当者】 琉球大学大学院医学研究科 女性・生殖医学講座 教授 青木 陽一